



70th anniversary

The letter of Shinseisakuza

# 新制作座だより

<http://www.shinseisakuza.com>



2020 SPRING vol.20



## 立春のご挨拶

— 2020年1月7日  
稽古始めと劇団員昇格式 —

**立** 春を迎え皆様には、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年もはやひと月が過ぎました。新制作座では、1月7日の七草の日に稽古始めと劇団員昇格式を行いました。

稽古始めは、劇団の俳優、スタッフ全員が揃って、今年の劇団の公演予定を確認し上演作品の稽古予定を考え、発声練習から「いろは歌」を合唱してスタートしました。心新たに向き合う清しさは初稽古ならではと感じます。

昼食を挟んで、劇団の行事ではとても重要な「劇団員昇格式」を行いました。劇団でこの式が行われるのは30数年ぶりのこと。劇団では、研究所生からスタートし研究生、準劇団員と昇格し劇団員になる修行の過程が決められておりました。だいたい劇団員になるためには、5年から7年の歳月が必要でした。

今回劇団員となりましたのは、上杉綾さん、福島里佳さんの2人です。上杉さんは、2008年に研究生となつてから『泥かぶら』のこずえ、『万国旗の子』のスザンナを演じ、現在ドラマ



↑ 昇格式にて祝辞を述べる真山蘭里代表

昇格された上杉綾さん(左)  
(1歳になる幸也くん)と  
福島里佳さん(右) ↓



ティックリディング『泥かぶら』を語り、演劇『泥かぶら』のこずえを務めています。劇団歴は11年であります。

福島里佳さんは、2011年『泥かぶら』の梅吉で新制作座に参加し、2013年に『泥かぶら』の主役泥かぶらに抜擢され、以来現在も泥かぶらを務めています。劇団歴は8年であります。この2人が劇団員となりましたことは、先輩劇団員一同大きな喜びでございます。

益々の活躍を祈りますとともに、この「新制作座だより」をお読みいただきます皆様のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。ご報告といたします。

新制作座一同

## 「泥かぶら」

### 初めての御浜町公演

— 2019年9月20日  
三重県御浜町公演 —

**眞** 山美保の著書「日本中が私の劇場」の通り、全国巡演を続ける新制作座でも、初めての土地もあります。御浜町は三重県南部の年間を通じ、みかんが収穫できる町です。昨年の夏、上演依頼が届いた時、私はまず地図を開きました。

人口は、約8000人。学生対象と一般の2回公演を計画。9月に入り一般公演の売れ行きが悪いとの連絡が入り、御浜町中央公民館の上垣内<sup>かみがいと</sup>さんと、道普請のため各町内の公民館にお集まりの地域の方々を訪ね、一日中走り回



上垣内(かみがいと)さんと甫本さんを囲んで

りました。交流が生まれ、チケットの申し込みが少しずつ増え、当日多くの方々「泥かぶら」の劇場に足を運び喜んでくださり、嬉しく忘れがたい公演となりました。御浜町の友人の皆様、誠に有難うございました。(記・小津和知穂)

## 「泥かぶら」

### 「ドラマティックリーディング」

### 懐かしい倉敷の地

— 倉敷中央ライオンズクラブ  
55周年記念公演 —  
— 真備町復興応援公演 —

**心** 配された台風17号一過の2019年9月23日、倉敷市芸文館にて倉敷中央ライオンズクラブ認証55周年記念事業として『泥かぶら』公演をご主催いただきました。

思い返せば今回は、ある方との出会いが無ければ実現しなかった公演です。20年近く前、私は劇団を離れ倉敷の地で新しい生活を始めました。その時にご縁のあった方と劇団に復帰してからお会いし、倉敷で『泥かぶら』を公演出来ればとの想いを話した事があり、そのことを心に留め何時か機会

があればと思い続けてくださった方の口添えが、今回の公演に繋がりました。

当日は招待された中学生から大人の方々でほぼ満員、舞台と共に息づく温かい客席を創ってくださいました。

2018年、公演決定の後、あの7月7日の西日本豪雨。報道を見て劇団員も心を痛めました。我々に何か出来ないかと。私達に出来る事は舞台の上から被災された皆さまに応援のメッセージを送る事。その為、この一年各地の公演で被災地応援のチャリティー募金をお願いして来ました。



倉敷中央ライオンズクラブの皆さまと

倉敷公演の翌日、今尚仮設住宅

にお住まいの方が多い真備町で、ドラマティックリーディングの公演を2回やらせて頂きました。

午後の公演では受け入れ準備をしてくださった社会福祉協議会の皆様から「頑張ってください」と逆に温かい励ましの声を掛けていただきました。一日でも早く元の生活に戻ります様にと願いながら真備町を後にしました。

お世話になった倉敷中央ライオンズクラブの皆様、有難うございました。特に実行委員長の原田様本当にお疲れ様でした。又何時か懐かしい倉敷の地に戻って来れる日を楽しみに!!。(記・山形久人)

## 「泥かぶら」

### 究極のテンバラ\*

— 2019年9月26日 島根県立出雲工業高等学校 —

## 秋

の匂いがし始めた9月下旬に出雲へ。この公演は6年間資料を送り続けてようやく



真備綾南高等学校の公演を終えて



強力なる助っ人、里佳さんのお兄さんが駆けつけてくれました

実り、決まってからも様々な試練がありました。

1つ目は、舞台監督ではなく、仕込みは楽屋担当の私が体育館の下見に行ったことです。どの位の広さが必要なのか判らず担当の先生と体育の先生と3人で四苦八苦。体育の先生は「高所恐怖症なんです」と言いつつ高い所まで上ってくださいました。

2つ目は、終演後に文化祭を行う事です。公演の開演は9時半、文化祭開始は13時半：あれ間に合わないのでは？ 行事の邪魔にならないよう、皆覚悟を決めました。仕込み当日、舞台監督の判断で緞帳柱を立てず、張り出しも無しにしたため、何とか間に合う算

段ができました。

時間との勝負の幕が上がり、生徒さんたちも初めて観る芝居だったからか、息をしているかわからないと思う位、静かに観劇してくださいました。

お礼の舞台挨拶を終え楽屋に戻ると、化粧前がポツリ。何と私の物以外はほとんど片付いていたのです。こ、これが新制作座の本気：究極のテンバラかと賛嘆しました。私の母と兄も参加して貴重な体験が出来たと喜んでいました。

文化祭当日にもかかわらず、多くの先生や生徒さんも力を貸してくれました。劇団の先輩方から「島根県公演成功おめでとう！」と優しく笑顔で声をかけられて、全く頭が上がらない公演となりました。（記・福島里佳）

\*テンバラ：公演後にテンポよくバラす。急いで片付けること。新制作座ならではの用語。

## 「泥かぶら」

### 熱き想い

— 2019年9月27日島根県  
石見智翠館高等学校 —

石 見智翠館高校の芸術鑑賞  
会は10数年ぶり。人権教育

の題材で演劇を探していて、島根県出身の役者がいる劇団が題材にピッタリな演劇をしている！「これはうちの生徒に見せにゃあいかんでしょ！」と、担当の田中先生が太鼓判を押し、上演が決まりました。その先生の熱意は止まらず、一緒に出演してくれる童役の稽古に何うと、放送部という生徒さんは声も大きく覚えも早く、あつという間に終わってしまいました。

本番当日、練習した部分が改善され、仕込み風景も熱心に見学。発泡スチロールで作られた岩や木、本物そっくりのすすきに感激しているのを見て、私も入団した頃、同じところに感動したな・・・と初心を思い出しました。

本番1時間前、童ちゃんたちが私の顔を見て驚愕。「メイクって：こんなに変わるんですね」演劇人にとって慣れているメイク一つにも感激してくれる童ちゃんたち。観劇態度も生徒さん一人一人純粹無垢で、私も初心を忘れず、好きな事に打込める環境に日々感謝し生きて行かねばならないと思う公演となりました。

（記・福島里佳）

## 「ドラマティックリーディング」

### 星 榎学園芸術鑑賞会

— 2019年10月15日 —

星 榎学園の公演が、雑誌「教育音楽」に紹介されました。



授業・行事・部活にいきる音楽教師の応援マガジン「教育音楽」中学・高校版 2020年1月(音楽の友社)

## 「ドラマティックリーディング」

### 郡山ザベリオ小・中学校芸術鑑賞会

— 2019年10月10日 —

台 風被害の中、公演を行っていただきました。



左から、高橋教頭先生、劇団 眞山、生徒さん、劇団 上杉、滝田校長先生

## 「泥かぶら」

# 熱い心で熊本が 温まった日！

— 2019年10月28日 —

## 14

年ぶりの『泥かぶら』公演。  
熊本市市民会館は朝から熱

気一杯。主催者の2人の方が舞台  
設営から助っ人として参加された

のです。昼は九州学院中・高校生

1400人の芸術鑑賞会。満員の

若者の熱が会場を満たす。夜は待

望の一般公演。昨年のチャリティ

公演の継続として、大人は有料、子

どもは無料、支援金大歓迎という

多彩な方法で呼びかけた公演。テ

レビコマーシャルの功か、県内外

からも昔見たという方等多くの

方々が来場され大賑い。客席は文

字通り子どもからお年寄まで、親

子3世代で見てくださいという

呼びかけそのままに、2階前列ま

でぎっしり。

終演後、満面の笑顔の方や涙ぐ

んでいられるお客様を送り出

しながら考えました。何故これ程

の素晴らしい日が出来たのだろう

と。「子ども達のために」を合言

葉に全力を尽して働かれた方々

を知っています。そのお心の純一

さに感動しその力量に驚嘆する

と共に、あの3年前の未曾有の大

地震と共に乗り越えてこられた

熊本の皆様の深い苦しみと強い

願いがこの日を創ったのでは！

と思いました。

敬愛する熊本!! この熱くて温

かな公演が更に続いていきます

ようにと祈っています。

(記・江崎はんを)

## 「泥かぶら」

### 中学校が劇場に

— 2019年10月29日

熊本県合志中学校公演 —

## 百

聞は一見にしかず。よくあ

る学校の体育館には見慣

れぬ巨大な2本の柱と、そこから

広がる大きな幕を見上げ、「学校

が劇場になる」という言葉を本当

の意味で理解した気がする。

私にとって初めての体育館公演。

幾度かの劇場公演で少しばかり

小慣れた感じを出していた私で

あったが、劇場を作る作業は、呆気

にとられるばかりであった。

足場を一から作り、幕用の柱を

立て、舞台を飾る。体育館の構

造を工夫して臨機応変に劇場が



仕込み風景 張り出しをして緞帳柱(幕を張る柱)を立てました

形作られていく傍、ロープ投げを  
失敗し続ける私。無念。

出来上がった劇場を前に、私は

心を躍らせずにはいられなかった。

子どもたちも、普段とは見慣れぬ

体育館の雰囲気、期待を膨らま

せた表情を見せていた。芸術は職

人の技という確固たる土台と、ホ

スピタリテイの上で初めて花開く

ものなのだな、と実感した。しか

し、それを達成するにはまだまだ

道は長い事を、筋肉痛で悲鳴をあ

げる体からひしひしと感じた。

(記・渡邊灯人)

## 「泥かぶら」

### 懐かしい福岡市民会館

— 2019年11月1日

福岡海星女子学園

精華女子高等学校 —

## 私

が初めて『泥かぶら』を観た  
のは17歳の6月、この福岡市

市民会館の大ホールでした。今日の

客席を作ってくれた1700人の

少女たちに、『泥かぶら』はどんな影

響を与えるのでしょうか。泥かぶら

が美しく豊かな人生を追い求めた

ように、強く優しく生き抜いてほし

いと願います。

あの日の私は、カーテンコール

で主演俳優が代読した、眞山美保

の『少年少女達へ』というメッセー

ジに、雷に打たれたように感動し

ました。

「作者から花束が届いていま

す。この会場にいる高校生を代表

して、どうか受け取ってください

い。」との言葉に、舞台上に上った私。

気がつけば30数年の時間が流れて

いました。



精華女子高校演劇部の生徒さんが仕込みを体験しました

・・・少年時代は生涯の中で一番つらい時代です。苦しみもがき悩む時代です。ですが大人になるとそのことをよく忘れてしまいます。けれど優れた作家たちは、そのつらい少年期を芸術作品に書き残しています。大人の全てが少年時代のつらさを忘れていくわけではないのです。

少年少女たちへより

2020年10月26・27日、福岡市民会館にて、『泥かぶら』の上演を計画しています。団体鑑賞の申込みを受け付けています。お気軽にお声がけください、飛んでまいります！  
(記・小津和知穂)

「ドラマティックリーディング」

バルーンフェスで

賑わう街で

— 2019年11月2日  
佐賀市 高木瀬幼稚園 —

佐 賀県 親と子の読書会協議会の友人の皆さまが、この

会をご主催くださいました。人々の心に灯をともし、尊い運動の輪



高木瀬幼稚園にて

が、益々広がりますよう心よりお祈り申し上げます。

「泥かぶら」

災害復興応援公演

— 2019年11月4・5日  
広島県坂町 —

福 岡と佐賀の公演を終えて  
広島県坂町へと急ぐ。

2018年の7月に甚大な被害を受けた坂町は、今は雨や泥もきれいなって、新築の家や壁を塗り変えた美しい家並になっ

た。会場に向って小川が流れる。この穏やかな川が濁流となって家々を襲ったのだ。

サンスターホールに着く。手入れの行き届いた美しい会場。グラインドピアノの側に当時の写真が貼ってある。黄色く渦をまく川、ホールの地下駐車場はプールのように車が入っている。1階の廊下には泥が押し寄せ、3階の研修室は避難所に。当時報道で目にしたのは、町には山のような畳、家具や蒲団などが道にあふれていた。1年半経って、こんなにもおだやかな家並みを取り戻したのだ。

初日は一般公演。童役で出演してくれた小学5年生の2人は、「ぼくの家は助かったけれど、道ひとつ隔てた家が水に浸かった」と話す。客席は温かく、一つ一つに反応

してくださる。最後に眞山蘭里が「歌を歌います」と言うとき大きな拍手があり、挨拶する眞山もお客様の顔々を見て、胸がまる。私たちも目頭を熱くしながら、お客様の手拍子の中で歌う！

2日目は小学校1年生から6年生まで。楽しみに待っていた子どもたちが賑やかに見ている。2幕の「お月様いくつ」が流れると、

もう大きな手拍子が。同じ学校の生徒が童役で出演しているの、食い入るように観ている。3幕も一つ一つに反応して1年生も最後までよく観賞してくださった。6年生からお礼の言葉と花束をいただく。公演ももちろん素晴らしいだったが、客席も舞台裏のお茶やお菓子などの細かな接待も、心のこもる坂町の公演でした。



サンスターホールにて

裏を手伝ってくださった2人の青年もありがとうございました。坂町文化協会主催・坂町、坂町教育委員会共催でした。ありがとうございました。（記・大石晃子）

## 「泥かぶら」

### 芸術への誘い

—2019年11月21日  
新潟県魚沼市公演—

**新** 潟に入ると秋景色の真只中、遠くの間々は雪を頂いていた。2018年7月に佐藤市長さんにお会いし魚沼市内全中学校の公演が実現した。

教育委員会の皆さまと準備を進めていく中、秋頃から魚沼の市街地に熊が出没し人を襲う事態が起きた。当初徒歩で来るはずの近くの中学校も安全のため、急遽バスでピストン輸送となり、早い

生徒は1時間前に着席ということになった。

待ちくたびれる生徒さんたちを心配し、制作部の発案で、劇団音楽部の渡邊灯人さん（6月に全東北ピアノコンクール第1位、文部科学大臣賞受賞）に15分間のピアノ演奏を頼んだ。2曲目のドビッシューの「月の光」は、生徒さんたちの心を鎮め、芸術の世界へ誘ってくれた。そしてそれは舞台に立つ役者たちにも伝わり、生徒さんたちの集中は最後の幕が降りるまで続いた。

いつも新潟公演の際、高速から見える小出郷文化会館を通り過ぎるたびに「あの素敵な劇場でやりたいね」とよく話していたが、2019年最後を飾る素晴らしい『泥かぶら』大千秋楽となった。（記・木村幸子）

## 「星槎国際八王子」

### 「たけくらべ」その後

—演劇ゼミ報告—

**10** 月25日、台風が首都圏を直撃した日、星槎国際八王子

高等学校は休校となった。あいにくと演劇ゼミの日だった。休校発令直後、1人のゼミ生徒が事務室



「たけくらべ」台本

に駆け込んで来た。休校だけでも今から抜き稽古をして欲しいという。確かに彼は人一倍本読みが苦手だった。何とか皆のレベルに追い付こうと必死の表情だった。よし、と私たちは稽古場へ向かった。するとその処に同じような境遇の女生徒が私を待っていた。彼女も抜き稽古をしてほしいという。私たち3人はそれからミッチリ時を忘れて稽古に没頭した。何時しか台風は峠を越していた。

肝腎の演劇ゼミの稽古の方は、様々の事情を抱えた生徒が多く、欠席がちで思うような進展がなくいらいらさせられているが、しかし仕上がりが総てでは無い。真山青果のせりふに翻弄されながら、バイトで疲れた眼を擦りつつ苦闘した日々こそ貴重な成果ではなからうか。梨園の御曹司の稽古ではない。各々異なった道に進む彼らの人生に忘れぬ青春の一頁をかくすことこそ演劇ゼミの使命だと思っております。（記・込山虔二郎）

## 「イベント」

### 新制作座クリスマス

#### パーティー2019

—2019年12月21日—

**年** 末のお忙しい中ご参加いただき誠にありがとうございました。

生後8か月〜84歳までが集い、国際的で賑やかなクリスマスパーティーになりました。

今年、劇団創立70周年のお祝いとクリスマス兼ね、12月18日（金）、真山青果賞授賞式でお馴染みの、新・東京会館にて祝賀会を予定しております。秋号にてご案内申し上げます。



魚沼市教育委員会の方と



新制作座クリスマスパーティー2019

写真提供：星槎国際静岡学習センター卒業生 山下真輝

【惜別】2019年12月11日 永眠

## 送ることは

— 橋本富夫さんへ —



橋本富夫さん

「風のガーデン」に君を訪ねた。昔語りに興じていた時、ふと君が発した言葉に私は愕然とした。

「僕が入団して1週間目、57時間一睡もせずに大道具を作らされた。あの時僕は死ぬかと思ったなア・・・57時間だぜ・・・。」

私も忘れていたけれど、あの年、1958年1月、6期生として入団した新人の大半は新作「野盗風の中を走る」のメンバーに編入され、我が「青春」班に配属されたのは2人だけだった。さて問題は新作「野盗・・・」の舞台装置の仕事が遅れ、道具帳が届いたのはなんと初日の半月前で僅か1週間で三幕十二場の大道具を製作しなければならなかった。そこで「青春」班の

男性は総力をあげ不眠不休でこの任務をやり遂げたのであった。

「あの徹夜が、俺に本物の仕事とはこういうものだ」と教えてくれたんだなあ。57時間だぜ・・・。」60年も昔のことをまるで昨日の事のように語る口振りに、私は君の生きざまの原点を見る思いだった。

当時の君は颯爽として背が高く、ダンディーでスポーツマン。ランニングは何時も一着。私などいくら頑張っても敵わなかった。野球はサウスポーの快速球投手。ただ相手の野次にすぐカッカして四球を連発し、ノックアウトされることも多かった。何といつても本領はスケートだった。何処のローラースケート場でも君は花形、バックでリンク一周出来るのは君だけだった。

研究生時代は、導火線の短いことも群を抜き、腹を立てて大道具を蹴飛ばして叱られていた。「人に当たるよりは良いだろう」と嘯いてる姿はまるでやんちゃ坊主宛らであった。先輩にも臆せず、女性に人気があり、先輩からも愛されていた。

だから佐賀で倒れた時のショックは劇団中を走った。「馬五郎一座顛末記」班で仙台に居た私達は、君の身体を襲った「痺れ」が足

首から膝へ腰へと上がっていると聞いて、一晚中祈りつづけた。翌朝「痺れ」が腹部で止まったと報告が届いた時は歓声をあげた。

けれど君にとっては生涯に渡る苦しい闘い、私達の想像も及ばぬ孤独で辛い絶望の幕開けだったのだ。

1965年春、君の病院を見舞った。「君が経営部になるなんて大歓迎だ。乾杯しなくちゃ・・・。」と言ってベットの下から飲みかけのトリスイスキーの丸壇を取り出した。驚いてる私に「大丈夫、病院も母も承知しているから心配しないで」と部屋の隅の母上に同意を促した。それから私達は水も割らずにストレートで飲んだ。楽しいひと時だった。母上はやさしい方だった。そんな母上を君は乱暴な言葉でぞんざいにこき使った。僕ははらはらして君の言動を窺めた。けれど今思うに、あれは辛い日々の君の、唯一の甘ったれだったのだと思う。甘えられるのは母上だけだったのだから。

何年か後、その母上が身罷られたとき、君はリハビリ施設に居た。さぞ気落ちしてるだろうと真山先生は私達フェスティバル班を派遣した。所が励ますつもりが逆に励まされた。君はリハビリに励み、バー

ベルを持ち上げながら「僕にはまだ健康な腕があるから働けますと伝えてくれ」と言つて太い二の腕をみせた。そして研究生たちに「頑張つて。苦しいことがあつたら私の姿を思い出してね」と声をかけてくれた。「なんと強い奴なんだろう」と私は震えるような感動を覚えた。

何年か過ぎ、やつと八王子に戻ってきた君は、総てを受け容れなお揺るがない強靱な中年紳士に変わっていた。子供たちの教育係として尊敬を集め、障害者運転免許を取得し、数えきれぬビデオ録画を提供し、事務所守護神として君臨し、橋本先生とよばれるようになった。

劇団が苦境の時、誰かが悩んでいる時、あの人が頑張っているのだからと自らを奮い立たせて来た。君の存在こそ劇団の誇りだった。

今、君は旅立った。長い闘いは終わった。今こそゆっくりと休みたまえ。そして自由に野山を走りたまえ。どんな苦しみも君の苦しみに比べればチヨロイもんだ。

橋ちゃんよ、だからこそ君は永遠に劇団員の心の深いところに生きつづけるのだ。

(令和元年12月14日 込山虔二郎)

## 2020年 新制作座

### ◆公演スケジュール ●年間行事 (2020年1月23日現在)

2月	◆(仮)星槎国際八王子成果発表会・演劇ゼミ 「たけくらべ」(作:樋口一葉脚:眞山青果)	10月22日～ 11月7日	◆九州巡演
3月 1日	●(仮)雛祭り	28日	◆演劇『泥かぶら』 福岡女学院 芸術鑑賞会
6日	◆ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』 茨城県結城郡八千代町立東中学校	11月 3日	◆頑張ろう熊本 熊本公演(熊本城ホール・シビックホール)
4月 4日	●(仮)お花見 ◆演劇『泥かぶら』 星槎高尾キャンパス新入生歓迎公演	4日	◆演劇『泥かぶら』 文徳学園中学・高等学校 芸術鑑賞会
29日	◆演劇『泥かぶら』 長野県佐久市 NPO法人 佐久福祉事業団体 傘の会 (佐久平交流センター)	11日	◆演劇『泥かぶら』 東京純心女子中学・高等学校 芸術鑑賞会
5月 12日	◆演劇『泥かぶら』 新潟県五泉市 中学一年生 芸術鑑賞会	27日	◆演劇『泥かぶら』 茨城県坂東市立神大実小学校・東中学校・ 飯島小学校 3校合同
13日	◆演劇『泥かぶら』 郡山女子大学付属高等学校 芸術鑑賞会	12月 18日	●新制作座創立70周年記念 クリスマスパーティー in 東京会館
15日	◆ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』 山形県尾花沢市		
16日	◆ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』 眞山青果 仙台市(宮城野区文化ホール)		
17日	◆ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』 宮城県大崎市(台風19号被災地支援公演)		
29日	◆ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』 山梨県北州市立白州中学校		
7月 4日	●(仮)夏企画(サマーランド)		
9日	◆演劇『泥かぶら』 栢山女子学園中学・高等学校 芸術鑑賞会		
11日	◆演劇『泥かぶら』 愛知県一宮市 一般公演(尾西市民会館)		
9月 12日	●八王子芸者衆とイベント		

— \* 同封の郵便振替の用紙について \* —

### 賛助会費のお願い

2019年10月、全国各地に大きな被災と爪痕を残した台風19号。新制作座は、宮城県大崎市にて、2020年5月17日(日)復興支援公演を行います。

みなさまのご支援を  
どうぞよろしく  
お願い申し上げます。



©2013大崎市 #350

## 編集後記



眞山 蘭里

正月2日は浅草へ。どぜうの飯田屋で一杯。六代目誕生との事。目出度し。



小津和 知穂

リアルな初夢にガバッと跳ね起き、後に引けない2020年の覚悟を決めました。



山形 久人

健康第一！今年も皆様の処に出かけます。



福島 里佳

コタツでアイスを食べることが最高の贅沢だと思う今日この頃♡



江崎 はんな

春風の吹けば自ずと山陰の梅も桜も花は咲くなり。初詣で賜った御くじの言葉。



渡邊 灯人

風邪で喉を痛める度に「変声期?」と聞かれます。



大石 晃子

今年はおリンピックの年。劇団も元気で全国を巡演してまいります。



木村 幸子

夜10時までに寝ると、朝3時半～4時に目が覚めます。



込山 虔二郎

今年は我が人生七度目の年男、益々華やいでもまいります。



松原ふみこ

「霜の花」って見たことありますか？高尾山で見られるそうですよ。

おかげさまで、新制作座だより20号を迎えました。これからもよろしくお祈りします。

広告



### きものお貸し出しいたします

劇団新制作座の創立者で劇作家・演出家の眞山美保が選んだ「きもの」を貸し出しております。日本の伝統芸術の美しさを体験してみませんか。お気軽にお問い合わせください。

「和装文化の朱鷺」 <http://ameblo.jp/wasoubunnkanotoki/>

ブログ見てくださいね!

劇団 新制作座 衣装部 [朱鷺 -toki-]